

例年にも増して雪が多い今年の冬。
札幌では1月中旬時点で平年の1.8倍の
積雪量とのこと。屋根の雪おろしや
落雪での事故のニュースも
たびたび目にします。

そこで今回は、思わぬ事故に
巻き込まれないよう、
改めて除雪時の安全確保
について考えてみましょう。



事故を未然に防ぐために

安全に除雪しよう



1 屋根の雪おろしの時は

屋根から雪をおろす際は、万が一の救助要請の
ために複数人で行いましょう。通行人に落雪し
ないよう、周囲を確認する役割も担います。一人
で雪おろしする場合は、事前に家族や近所の方
に声をかけておく和良好的でしょう。命綱の装着
はもちろん、靴や梯子などの滑り止めも万全に。
晴れの日は気温が上昇し雪が緩んで落ちやすくなるので、さらに注意
が必要です。屋根が低いお家でも、油断せずに雪おろししましょう。



2 除雪機を使う時は

体力がない方でも、力強く雪を払うことがで
きる便利な除雪機。パワーがある分、不注意で思
いがけない事故に至る可能性もあります。除雪
機を使用する際は、機械に巻き込まれないよう
服装に注意をしましょう。雪が詰まるなど機械
にトラブルが発生した時は、必ずエンジンを停止
して様子を見ます。飛ばした雪が通行人にあたらないよう、周囲の確認
も重要です。使用の前後など、こまめに点検や手入れをしましょう。



3 ルールやマナーを守りましょう

道路への雪出しは、通行の妨げや事故の原因
になり大変危険なため、法律でも禁じられてい
ます。また、除雪車による除雪への配慮も必要で
す。路上駐車があると除雪車が通れず除雪でき
ない場合があります。除雪ができないと、ご近所
にも迷惑がかかるため、路上駐車はやめましよ
う。さらに、除雪の妨げにならないよう、ごみは
当日の朝に決められたごみステーションに出しましょう。ルールやマナ
ーをみんなですべて守って、みんなですべて快適に冬を過ごしましょう。

